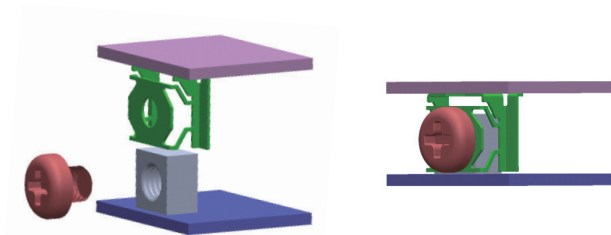
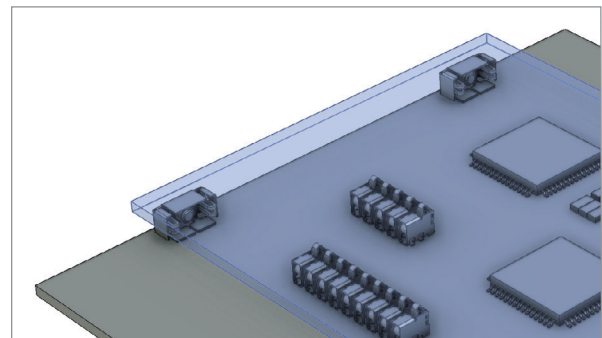
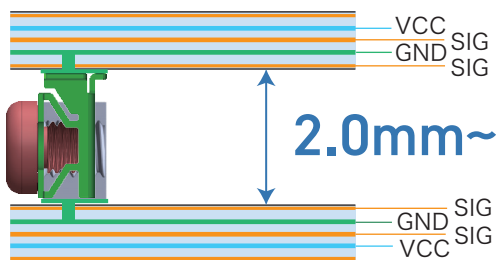


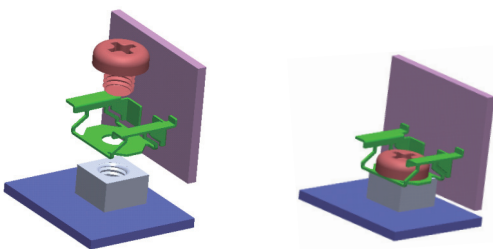
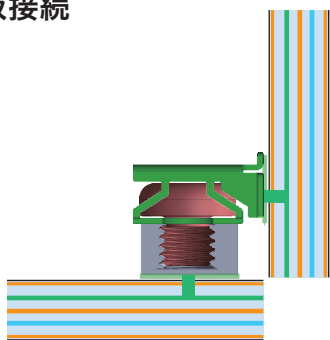
SMARX Reflowパーツによる基板の近接固定

- 今後ますます小型化とアッセンブル密度が高くなっていく中、基板間接続を行なうコネクターからSMARXスプリングコンタクトへの置き換え、さらにリフローナットとリフローブラケットを使う事により、高い信頼度と設計自由度を確保することが出来ます。
- 貫通穴なしに基板上の適切な箇所でのグラウンド接続が可能
- 大電流(電源用)接続が可能

水平基板接続

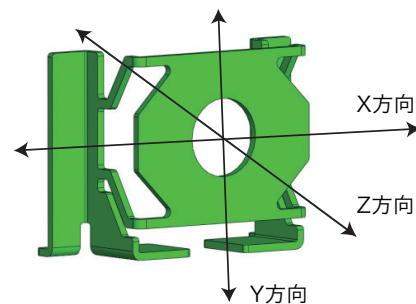


垂直基板接続



開発中製品

- 衝撃荷重分散型リフローブラケット
Impact Load-Dispersing Type



振動や落下衝撃でかかるはんだ付け部の負荷を低減。X, Y, Z方向に衝撃吸収できるバネ部を設置することで、振動や落下衝撃を分散するフローティング構造のリフローブラケット。

現在、実証実験機による測定及び検証中です。検証データはテクノロジーニュースでお伝えします。